

市民活動支援センターからのお知らせ

「本作り体験ワークショップ(WS)と展示」

と き [WS]2022年2月24日(木)13時～
[展示]22日(火)～27日(日)
内 容 洋本・和綴の製本を体験します
定 員 10名
費 用 [WS]500円(材料費含む)
申込先 市民活動支援センター
主 催 製本・装丁クラブ



「小学生と保護者のことわざ教室」

と き 3月13日(日)9時半～12時
内 容 身体に関することわざ・
動物に関することわざ(慣用句)
定 員 8組(定員になり次第締め切り)
費 用 300円(テキスト代)
講 師 古茂田 彰男
申込先 090-5431-0079(古茂田)
主 催 漢文音読の会

「学習支援」と「移動式子ども食堂」

と き [学習支援]2月2日(水)・8日(火)・
20日(日)・26日(土)18時～20時
※友引のセンター開館日に開催
[子ども食堂]2月27日(日)※第4回
曜に開催
内 容 小中学生の学習支援
費 用 [学習支援]無料、[子ども食堂]お
とな実費、中学生まで妊娠中の方無料
問合せ先 市民活動支援センター
主 催 NPO法人あいだ

「19万人の生涯活動のための文章表現演習」

と き 2月16日(水)・3月16日(水)
13時半～15時半
内 容 「NAOZANE」ライターでもある小林真
所長が主宰。生涯活動に役立つ文章表現の方
法を参加者と考える連続演習第2回です。毎月
開催ですが単一回参加も歓迎
定 員 会場8名(+オンライン)
費 用 無料
講 師 小林 真(市民活動支援センター所長)
申込先 市民活動支援センター
主 催 NPOくまがや・ことば部

「センスアップ・インテリア収納ワークショップ」

と き 3月17日(木)10時～12時
3月19日(土)13時～15時
内 容 インテリアから発想する、住まいの
収納ノウハウを学びます
定 員 各回8名(単一回参加可・同内容)
費 用 無料(間取りのわかるものを持参)
講 師 太田建樹(インテリアプランナー
・支援センタースタッフ)
主 催 NPOくまがや・おうち部

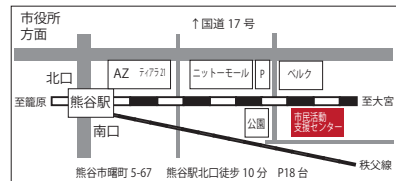
まちづくり応援基金「寄付先プレゼン交流会」

と き 3月19日(土)10時30～12時
内 容 市民活動に活かせる資金づくりの
ため、冊子販売の売上の一部や、寄付を募る
活動を試験的に始めています。2020年度の
活動を通じ、少額ですが、集まった寄付金の
使いみちを関心のある方々みんなで決める
交流会です。「〇〇の活動に活用したい!」と
いう方はぜひ、ご参加ください。
費 用 無料
会 場 市民活動支援センター
※オンライン参加もできます
参加ご希望の方は支援センターへご連絡く
ださい

誰かの役に立つか?小物の寄贈を募集!

右記、基金づくりのため、未使用品などご家庭に眠っている小物を収集しています。

発行：熊谷市市民活動支援センター
(指定管理者 NPO 法人 NPO くまがや)
住所：埼玉県熊谷市曙町 5-67
電話：0485221592
メール：sc@npokumagaya.org
休館日：月曜日(ただし祝日の場合は翌日)



はじめる・ひろがる・つながる



熊谷市市民活動支援センター



2021年度で14回目!

ニャオざねまつり開催。新たなチャレンジが
inニッソーモール できました!



ウイズコロナ「ニャオざねまつり」も2年目になりました。先行きわからない中、目的である市民活動の発表と団体間の交流をできる範囲でやる。昨年度の経験からみなさんで考えたのが、ニッソーモールをメイン会場に、FMクマガヤでの活動紹介、支援センターを音楽系団体のリモートライブスタジオとして活用する今回のスタイルでした。

ほか、前年度から継続の支援センター内ニャオざねまつりショップや市役所ギャラリー展、前年度は直前

で延期のクリスマススペシャル、環境がテーマのミニイベント、新出店の星川夜市とバラエティ豊かな展開。市民活動の得意な機動力を発揮して「いつでも・どこでも」度をアップさせました。

いつでも・どこでも(日常)じゃまつり(非日常)じゃないんじゃないの? という疑問はおいとしましょう。ひとまず、ニャオざねまつりは2022年も続きます。

熊谷市市民活動支援センター 所長

ニャオざねまつり実行委員会 会長 小林真

皆さまのアンケートから

9月28日～10月3日、ニッソーモールで開催したニャオざねまつりは、参加団体は計46、6日間の来訪者2,057名、アンケート回答者403名と、多くの方々に参加していただきました。「熊谷にこんないろいろな活動や団体があるとは思いませんでした」という回答も多く、これから取り組んでみたいこととして、「健康づくり」「身近な環境を守る活動」「子育て支援」へ関心を持っている方が多くいました。「様々な活動を知ることができた」「手づくりの感じが良い」「頑張ってください!」というコメントも多くいただきました。まとめたアンケートはセンターで閲覧できますので、ぜひ、ご参考に御覧ください。

2020年度に引き続き、コロナ禍にみまわれた第14回ニャオざねまつり。今年も「いつでも・どこでも」をキーワードに、様々な工夫をして実施しました。熊谷駅前、多くの方が買い物で訪れる商業施設、ニッソーモールの1階広場で約1週間にわたり実施したイベントでは、多くの方に市民活動をPRする機会となりました。

ニャオショップ

2021年5月～2022年3月
20団体参加

昨年度から引き続き、支援センターに常設の、各団体による手づくりの小物、リサイクル品などの販売コーナー。売上は活動資金となります。毎月交代で3団体～5団体が出店。新たな団体の参加もあり、会議室利用など来館された方々の関心を引いています。



展示



9月28日～10月3日

ニッソーモール会場

販売・ワークショップ



ミニイベント

「あなたができる、 温暖化ストップ」講演会

8月29日
14名参加



- 光熱費カットができる「鍋帽子」の調理実演
- 樹を植えて温暖化防止 植樹の話と苗木の配布



エコネットくまがや・熊谷友の会によるエコ・クッキングや身近な環境を守るための活動の講話。感染拡大した時期と重なってしまい、多くの方に呼びかけはできませんでしたが、当日の様子の動画はホームページで見ることができます。

展示参加団体22、小物などの販売14団体(売上約15万円)、活動が体験できるワークショップ10企画(体験者100名)、入場は2,057名。買い物客で賑わうニッソーモール1階のイベント広場で開催。「こんなに市民活動があるなんて」という感想もいただき、PRは大成功でした。



大きなディスプレイを購入。感染予防のため声を出すなどのパフォーマンス系の活動ができないなか、以前の活動動画の上映や、ラジオ出演とその様子の配信、支援センター会場とオンラインでつないでのライブなど、オンラインも活用した新しい取り組みにもチャレンジすることができました。

市役所ギャラリー展

8月23日～8月27日



18団体展示、閲覧者227名。準備や片付けに立正大学の学生が参加してくれました。

ミニイベント クリスマス 二十二夜

12月18日・25日



感染状況が収まった時期に開催。イベントスペース二十二夜を会場として、クリスマスを両日で10団体によるライブ、小物などの販売。参加者90名。コーラス、ゴスペルのほか、シニアと学生による活動事例報告、シラズリボンの活動紹介などもあり、大いに盛り上がりました。

実行委員会 毎月1回、計11回実施。



どうやって、どこで、いつ開催するかなど、今年度も開催が危ぶまれるなか、当日のオンライン参加やSNSでの意見交換なども活用し、無事に実施できました。